

第35期
第6回長崎県社会教育委員の会議



第35期長崎県社会教育委員会

第6回委員会 令和2年6月11日(木)

第6回委員会の内容

(全体会)

- 第35期事業等報告
- 意見交換
今後の課題と第36期にむけた提案



全体会

第35期社会教育委員の最後の会議として、今期の活動成果と今後の課題及び第36期への提案について意見をいただきました。

◇委員からの意見

- ・社会教育は「繋がり」が大事。お互いに共有するものを見つけて、汗をかいて繋がっていくためにも、社会教育活動を「見える化」することが大事。
- ・今後は人生100年という時代の社会教育の展開をどう考えていくかが課題になる。学んだことを地域に還元して初めて生涯学習が完結する。「知の循環システム」として地域の中でどう仕組みを作っていくかが課題となる。
- ・社会教育の「人を育み、人をつなぎ、まちを元気にする。」という普遍的価値は変わってはいけない。しかし、それをどういう形で進めていくかというのは、時代によっては社会において変わっていくべき。